

## 原稿執筆要領

### 1. 原稿の書き方

原稿は、内容がわかりやすいように、重点を強調して簡潔に記述する。書籍・雑誌などから図表を引用するときには、必ず出典を明記する。

- 1) 表紙は、「投稿原稿表紙」の書式を添付する。A4 判用紙を縦長に用いて、横書きとし、原稿の種類、表題、キーワード（5 語以内）、原稿枚数、別刷部数、著者氏名、所属団体・部署、代表者の連絡先（住所、TEL/FAX 番号、E-mail アドレス）を記載する。

なお、表題、キーワード、著者名、所属団体・所属には英文表記も併記する。

- 2) 本文は、「投稿原稿チェックリスト」の書式を添付する。A4 判用紙を縦長に用いて、横書きとし、原則としてワードプロセッサもしくはパソコンのワープロソフトを使用して、文字の大きさを 10～11 ポイント程度に設定し、上下余白 25mm 以上、左右余白 25mm 以上、行間を 5mm 以上空けて（英文の場合はダブルスペースで）印字する。

- 3) 「原著論文」の原稿には和文・英文両方の抄録を添える。和文の場合は 400 字以内、英文の場合は 200 語程度とする。

- 4) 図表（写真を含む）は、1 点ずつ A4 用紙に配置し、それぞれに通し番号と簡単な解説文を付し、原稿本文とは別にまとめて、巻末に添える。本文の右余白に、図表を挿入する個所に図表番号を朱書きする。提出する図表の原図は、そのままオフセット印刷するため、白紙または青色の方眼紙に、黒インクで仕上げ寸法の約 1.5 倍の大きさに描く。

- 5) 文献は、本文中に著者名と発行西暦年を括弧表示し、本文原稿の最後一括して著者名のアルファベット順に列記する。著者が 3 名以上の場合は筆頭者 2 名のみをあげ、〇〇他とする。文献の記載方法は以下の通りである。

#### ①雑誌掲載論文の場合

・著者名（発行西暦年）：論文の表題、掲載雑誌名、号もしくは巻（号）、最初の頁数—最後の頁数。

#### ②単行本の場合

・著者名（発行西暦年）：書名（版数）、出版社名、発行地

・著者名（発行西暦年）：論文の表題、編者名、書名（版数）、頁数、出版社名、発行地

#### ③翻訳書の場合

・原著者名（原著の発行西暦年）／訳者名（翻訳書の発行西暦年）：翻訳書の書名（版数）、出版社名、発行地

なお、雑誌略名は、邦文誌では医学中央雑誌、欧文誌では INDEX MEDICUS および INTERNATIONAL NURSING INDEX に従う。

- 6) 原稿は現代かなづかいで記載し、常用漢字、アラビア数字（算用数字）、SI 単位系（m、kg、S、A など）を用いる。外来語はカタカナで、外国人名や日本語に成り立っていない語は活字体の原綴りで書く。

7) 特定の機器や薬品名を記載するときには、一般名(会社名、商品名)、一般名(商品名<sup>®</sup>)と表記する。

例、MRI (Siemens 社製、Magnetom)、塩酸エペリゾン (ミオナール<sup>®</sup>)

## 2. 原稿の長さ

原稿は、原則として図表を含めて400字詰め原稿用紙20~30枚(8,000~12,000字)程度とする。

## 3. ワープロ原稿作成上の注意

投稿時には原稿(本文)をWord、Excel等で保存したファイルをメールに添付する。なお、使用した機種やソフトウェアの違い等により、投稿者の作成したファイルがそのまま変換できない場合があるので、送信するファイル作成に際しては下記の点に注意すること。

- 1) 特殊な書体や文字の大きさの指定が必要な場合は、ハードコピー上(印刷したもの)に明記する。
- 2) 文章は1段組で打つこととし、段落ごとに文頭を1文字空ける。
- 3) 改行の場合は、必ず文末に(強制)改行マークを打つ。
- 4) 表や脚注は別の文書にするか、文末にまとめて打ち、文中には組み込まない。
- 5) 数字や欧文は半角文字を使用し、単位記号は原則として欧文半角文字の組合せで打つこととし、特殊文字・記号等は使用しない。
- 6) 上付き・下付きの文字や数字( $x^2$ 、 $H_2O$ など)を使用した場合は、ハードコピー上にも明記しておくこと。

この規定は、平成14年5月25日より発効する。